

虹男（1949）

メディア 映画
ジャンル 特撮 サスペンス
製作国 日本
色彩 B&W/C
時間 81分
初公開日 1949/07/18

【解説】
一連の大映スリラーの中の一作で、大映特撮作品が次々ソフト化された時期にタイトルがラインナップに登ったことから、爾来、特撮ファンにも馴染み深い作品となった。内容は「〇〇サスペンス劇場」などの作品群に近い。原作は角田喜久雄の新聞連載小説。メスカリンを飲まされた人間がみる幻覚の表現として部分的にカラーの映像が取り入れられている非常に画期的な作品で、当時モノクロ一辺倒だった日本映画界に衝撃を与えた（現在そのカラー部分は残っていない）。新聞記者の鳥飼と明石は、共通の友人がある殺人事件の容疑者となっていることを知り、彼女を助けようと調査を始める。事件の被害者たちは皆、「虹が……」という謎の言葉を残していた……。

【クレジット】
監督 牛原虚彦
企画 辻久一
黒岩健而
原作 角田喜久雄
脚本 高岩肇
撮影 柿田勇
美術 今井高一
編集 辻井正則
音楽 伊福部昭
特殊撮影 円谷英二 Eiji Tsuburaya
助監督 村山三男
出演 小林桂樹 明石良輔
暁テル子 鳥飼美々
若杉須美子 小幡由利枝
大日方傳 岡田警部
見明凡太郎 摩耶龍造
平井岐代子 摩耶志満子
植村謙二郎 摩耶勝人
宮崎準之助 摩耶豊彦
浦邊条子 野々村かね